

2019年度

基幹教育センター
副専攻コース履修案内
【平成30年度入学者用】

岡 山 大 学

全学教育・学生支援機構 基幹教育センター

1 開設コース

基幹教育センターでは、副専攻コースとして「日本語教育コース」を開設し、15人程度を受け入れます。

2 履修対象者

履修対象者は、次の学部 of 学生で、所属学部 of 学部長が認めた者としてします。各学部 of 判定方法は、3ページ「各学部履修対象者判定方法」のとおりです。

- ① 文学部 ② 教育学部 ③ 経済学部 ④ 理学部
⑤ グローバル・ディスカバリー・プログラム

なお、次の学部 of 学生は、所属学部 of カリキュラムとの関係から、副専攻コースを履修することはできません。

- ① 法学部 ② 医学部 ③ 歯学部 ④ 薬学部 ⑤ 工学部
⑥ 環境理工学部 ⑦ 農学部

3 履修の申請方法

副専攻コース of 履修を希望する場合は、次の表に示す時期に、所定の「副専攻コース履修申請書」（所属学部教務担当で受け取ってください。）により、所属学部 of 教務担当で申請手続を行ってください。

入学時期	申請時期	提出先
4月入学者	申請の時期は、 <u>2年次</u> of 次 of 期間です。注) 2 平成30年度4月入学者 of 申請期間 《2019年7月16日(火)～7月31日(水)まで》	所属学部等 of 教務担当
10月入学者	申請の時期は、 <u>1年次</u> of 次 of 期間です。注) 3, 注) 4 平成30年度10月入学者 of 申請期間 《2019年7月16日(火)～7月31日(水)まで》	

- 注) 1 日本語教育コースでは、コース申請前 of 1年次第1学期から、コースが指示する履修順序に従って履修を開始することができます。履修登録は、通常 of 履修手続き of とおりです。
2 申請時期は原則として2年次ですが、所属学部 of 学部長が認める場合は、3年次以降にも申請が可能です。この場合 of 申請期間は申請年度 of 4月以降、早めにHP等で確認してください。
3 10月入学者 of 方で副専攻コースを希望する場合は、履修開始時期について、早めに学務部学務企画課教育支援グループ（一般教育棟A棟2階①カウンター）へ相談してください。
4 10月入学者 of 方の申請時期は原則として1年次ですが、所属学部 of 学部長が認める場合は、2年次以降にも申請が可能です。この場合 of 申請期間は申請年度 of 4月以降、早めにHP等で確認してください。

4 履修の許可

履修の許可は、全学教育・学生支援機構が、所属学部長から副専攻コース履修に係る申請があった者について、審査を行い決定します。
審査結果 of 通知は、所属学部 of 教務担当を通じて行います。
通知方法・時期については、教務担当から別途掲示等により指示があります。

5 履修の開始時期

副専攻コースの開始は、2年次の第3学期からですが、日本語教育コースは、教育効果等を勘案して、1年次第1学期などの早い段階から履修を開始することができます。

ただし、早い時期から履修している場合であっても、2年次（10月入学者は1年次の7月の申請時期に「3履修の申請方法」による申請手続きが必要です。

また、申請の結果、副専攻コースの履修を認められなかった場合は、2年次第3学期以降、副専攻コースの授業科目を履修することはできません。

なお、日本語教育コースの授業科目の履修時期は、4ページ以降を参照してください。

6 履修方法等

履修方法及び修了要件等については、4ページ以降を参照してください。

授業科目の内容、講義番号、授業担当教員、教室等については、上記を参考に、各自で教養教育科目のシラバス・時間割等により確認してください。

7 修得単位の取扱い

副専攻コースで修得した授業科目・単位の扱いは、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

所属学部の卒業要件単位となっている科目が、同時に副専攻コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と副専攻コース修了要件単位の双方にカウントします。（ただし、経済学部夜間主コースの教養教育科目については双方のカウントの上限は20単位までです。）

8 修了証書の授与

副専攻コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。

また、副専攻コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

9 その他の留意事項

所属学部の卒業要件を満たした場合は、副専攻コースの履修が途中であっても卒業となりますので、以後の履修はできません。

●各学部履修対象者判定方法（2年次の申請 注：10月入学者は1年次の申請）

学部	判定方法
文学部	2年次第2学期終了時まで45単位以上を修得した者。
教育学部	2年次第2学期終了時まで60単位以上修得（評語が「修了」及び「認定」の単位を含む。）し、GPAが2.7以上であること。
経済学部	2年次第2学期終了時まで、卒業要件算入単位を53単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上とする。
理学部	1年次終了時まで、履修修得単位数が40単位以上で、単位平均点が80点以上であること。
グローバル・ディスカバリー・プログラム	4月入学者は2年次第2学期終了時まで45単位以上、10月入学者は1年次第2学期終了時まで30単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上である者で、日本語による講義を受講するための日本語能力を有する者。（日本語能力試験等の成績の提出を課すことがあります。）

日本語教育コース (平成30年度入学者に適用)

コース概要：					
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えらるる教師養成を目指します。					
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	
				年次	期
※1 必修 科目	日本語教材研究1	1	1	2年次	第3学期
	日本語教材研究2	1	1	2年次	第4学期
	日本語学概論1 ※2	1	1	3年次	第1学期
	日本語学概論2 ※2	1	1	3年次	第2学期
	日本語教授法概論	1	1	2年次	第2学期
	日本語指導法1 ※2	1	1	3年次	第1学期
	日本語指導法2 ※2	1	1	3年次	第2学期
	日本語教育演習1 ※3 ※6	1	1	3年次	第4学期
※1 選択 必修 科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	1～4年次	第1学期
	異文化の中の心理と支援	1			2019年度開講なし
	言語と社会	1			第1学期
	第二言語習得論	1			2019年度開講なし
	日本語教育演習2 ※3 ※6	1			第4学期
	日本語研究と教材作成	1			第3学期
※4 選択 科目	「日本語教育能力検定試験」の関連科目から選択		10	1～4年次	全学期
	教養教育科目として開設する全ての外国語科目から ※5		2	1～2年次	全学期
合計			24		

注)

- 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
 - 「日本語教材研究1,2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
 - 「日本語指導法1,2」を既に履修した者のみが、表中※3の科目を履修することができます。
 - 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、次ページを参照してください。
 - 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。
 - 「日本語教育演習1」及び「日本語教育演習2」は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認めません。
- ☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが望ましい。

日本語教育コースの履修モデル (平成30年度入学者の場合)

平成30年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
2019年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修 (日本語教材研究1,2、日本語教授法概論)	4単位取得 3単位取得
2020年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修 (日本語学概論1,2、日本語指導法1,2、日本語教育演習1)	4単位取得 5単位取得

2019年度副専攻日本語教育コース対象科目

科目区分	授業科目	単位	講義番号 期別・曜日・時限
選 択 科 目	トルコの言語と文化	1	911023 1・月・5, 6
	日本の農業と農村社会	1	911125 1・月・7, 8
	※日本史を見る眼	1	911030 1・火・1, 2
	発達心理学概論	1	911057 1・火・7, 8
	教育心理学	1	911056 1・火・7, 8
	日本語史の諸問題 1	1	911021 1・木・1, 2
	※実践型教育/学習概論 1	1	912007 1・木・1, 2
	※異文化接触の心理学	1	911047 1・木・3, 4
	Japan in the Age of Globalization 2	1	911157 1・木・3, 4
	茶の湯にみる日本史2：作法と精神	1	911129 1・木・5, 6
	※実践型教育/学習概論 1	1	912008 1・木・7, 8
	日本語史の諸問題 2	1	911022 1・金・1, 2
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1	912052 第1学期集中
	対人支援職のための精神医学入門	1	911051 2・月・5, 6
	日本語学と言語表現	1	911059 2・月・5, 6
	交流による子どもの成長支援Ⅱ	1	912035 2・月・7, 8
	アニメ：ジブリアニメから学ぶ日本	1	911108 2・火・3, 4
	日本文化理解 1	1	911152 2・火・3, 4
	※日本史を見る眼	1	911031 2・木・1, 2
	※アジアを知る	1	911038 2・木・1, 2
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911132 2・木・5, 6
	実践型教育/学習概論 2	1	912020 2・木・7, 8
	※キャリアデザインⅠ コミュニケーション力に磨きをかける	1	912401 2・金・3, 4
	教育と国家	1	911005 2・金・3, 4
	社会心理学 1	1	911049 3・月・3, 4
	人間関係論入門	1	911053 3・月・3, 4
	人間関係とセルフケア	1	911052 3・月・5, 6
	Global Sociology: Understanding Diversity	1	911160 3・火・金・1
	※アジアを知る	1	911039 3・火・1, 2
	社会学で考える	1	911046 3・火・3, 4
	異文化組織で働く	1	911128 3・火・5, 6
	日本の文化遺産	1	911136 3・火・7, 8
	留学生支援ボランティア実習【注】2参照	1	912508 3・水・5, 6
	学校と教師の役割を考える	1	911003 3・木・3, 4
	※日本語の音声	1	911013 3・木・3, 4
	文化人類学への招待	1	911045 3・木・3, 4
	※異文化接触の心理学	1	911048 3・木・3, 4
	万葉集を読む	1	911058 3・木・3, 4
	日本のポップカルチャー紹介	1	911109 3・木・3, 4
	ひとのことばの起源と進化 1	1	911016 3・木・5, 6
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911137 3・木・5, 6
	Japan in the Age of Globalization 1	1	911156 3・木・5, 6
	東アジア都市史ー日本、中国、韓国	1	911138 3・木・7, 8
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	912028 3・木・7, 8
	比較・国際高等教育論Ⅰ	1	911139 3・金・5, 6
	小中学生の協同教育のための教材開発	1	912031 3・金・7, 8
	日本語の語彙と文法	1	911015 4・月・5, 6
	国際協力とプロジェクト管理	1	911140 4・月・7, 8
	交流による子どもの成長支援Ⅰ	1	912034 4・月・7, 8
	Cross-Cultural Experiences	1	911162 4・火・金・3
※アジアを知る	1	911040 4・火・1, 2	
※日本語の音声	1	911014 4・木・3, 4	
※キャリアデザインⅠ コミュニケーション力に磨きをかける	1	912402 4・木・3, 4	

ける			
授業研究入門	1	911002	4・木・5, 6
ひとつのことばの起源と進化2	1	911017	4・木・5, 6
教養としての日本文学	1	911025	4・木・5, 6
グローバル社会の地域研究入門（アジア・太平洋諸島）	1	911142	4・木・5, 6
東アジア都市史－台湾、香港、ベトナム、フィリピン	1	911143	4・木・7, 8
創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	912037	4・木・7, 8
中韓ワークショップ：東アジア人材育成留学体験入門コース【注）5参照】	2	911145	夏季集中
語学研修・サマーコース 【注）2参照】	1	911147	夏季集中
スプリングスクール：東アジアにおける持続可能な発展と交流に向けて【注）5参照】	2	911146	冬季集中
語学研修・スプリングコース【注）2参照】	1	911172	春季集中
異文化理解1	1	911150	春季集中
国際インターンシップ 【注）3参照】	4	912056	特別
国際インターンシップ 【注）3参照】	3	912057	特別

必修科目	日本語学概論1	1	911091	1・金・3, 4
	日本語指導法1	1	911095	1・火・5, 6
	日本語指導法2	1	911096	2・火・5, 6
	日本語教授法概論	1	911097	2・火・5, 6
	日本語学概論2	1	911092	2・金・3, 4
	日本語教材研究1	1	911098	3・金・3, 4
	日本語教育演習1	1	911090	4・火・3, 4
	日本語教材研究2	1	911099	4・金・3, 4
選択必修科目	日本語教育とマルチメディア	1	911102	1・火・3, 4
	言語と社会	1	911100	1・火・5, 6
	日本語研究と教材作成	1	911093	3・木・5, 6
	日本語教育演習2	1	911094	4・木・5, 6

注)

- 各授業科目の内容については、教養教育科目のシラバスで確認してください。
科目によっては、受講要件がありますので、特にご留意ください。
- 複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。
ただし、「留学生支援ボランティア実習」は、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。
また、「語学研修・スプリングコース」「語学研修・サマーコース」も、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、各科目それぞれ合計で最大2単位まで算入できます。
- 「国際インターンシップ」は重複履修可能な科目ですが、副専攻コースの修了要件としては1科目しか認められません。
- 対象科目は上記に掲げているものに限り、同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なるものは対象となりません。
- 日本語教育コース対象科目の遡り追加科目一覧が次ページにあります。平成30年度に該当の科目を修得していた場合、日本語教育コース対象科目として認めますのでご確認ください。

副専攻日本語教育コース対象科目の遡り追加科目一覧

平成30年度に以下の科目を修得していた場合、副専攻日本語教育コース対象科目として認めます。

科目区分	授業科目	単位
選 択 科 目	対人支援職のための精神医学入門	1
	日本文化理解 1	1
	人間関係論入門	1
	人間関係とセルフケア	1
	比較・国際高等教育論 I	1
	授業研究入門	1
	中韓ワークショップ：東アジア人材育成留学体験入門コース	2
	異文化理解 1	1